



ドキュメンタリー映画（日本語字幕版）

Shift of the Ages

～マヤ族長老が歩んだ軌跡～

プレイ イット フォーワード
“PLAY I T FORWARD” 上映会の手引き

◆日本での Shift of the Ages の歩み

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。当「SOTA JAPAN」の活動につきましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本上映会は2013年9月27日(金)に東京都品川区「スクエア荏原ひらつかホール」での開催を皮切りに、オフィシャル上映会、もしくは小規模自主上映会というかたちで、北海道から沖縄まで、日本各地に広がっています。

オフィシャル上映会では、お越し頂いた皆さま全員へDVDをお渡し、古来より伝わる大切なメッセージを“PLAY IT FORWARD”キャンペーンとして、広げて参ります。(“PLAY IT FORWARD”については下記ご参照)

本映画は、7年間に及び撮り続けてきたドキュメンタリー映像です。神聖なマヤの預言を携えた一人の長老が歩んだ軌跡を追い続けるなか、そこには今この運命的で急激な変革期を生き抜く愛と叡智に満ちた姿がありました。この映画は、マヤ族大長老として世界的にも有名なアレハンドロ・シリロ・ペレス・オシュラ氏(マヤ名:ワカテル・ウティウ=さすらう狼)の物語ですが、それは同じ地球に同時代に住む私たち『一人一人の人間の生きる魂』に今、起きている話であることを伝えています。

◆映画祭での受賞、ノミネート状況

昨年末に映画“Shift Of the Ages”の英語版がWeb公開されました。公開と共に、これまで公式ノミネート及び、受賞した映画祭の最新情報をご紹介します。

★2013年2月	国際インターフェイスハーモニー映画祭 フューチャードキュメンタリー部門 審査員賞受賞
☆2013年2月	セドナ国際映画祭 公式ノミネート
★2013年4月	リバーサイド国際映画祭 ドキュメンタリー部門 観客賞受賞
☆2013年5月	ブラックヒルズ国際映画祭 公式ノミネート
★2013年6月	インテンデンス映画祭 公式ノミネート
☆2013年9月	ビックベア湖国際映画祭 ベスト国際映画賞受賞
★2013年10月	テルアビブスピリット映画祭 公式ノミネート (イスラエル)

◆“PLAY IT FORWARD ～次の人へ～”ムーブメント

PLAY IT FORWARD(プレイ・イット・フォーワード)とは、受け取った“何か(IT)”を次の人へ渡し、受け取った人はまた次の人へと繋がり、広げていくことです。その“何か”は、人それぞれです。映画を観て感じた思いや愛、メッセージ、DVDかもしれません。この映画はツールです。映画を通して、あなたのコミュニティにポジティブな“SHIFT(シフト)=変化”をもたらし、そして次へと渡して下さい。

“あなた発”の上映会を通して、多くの皆さまへメッセージを届けて下さい！

◆お金というエネルギーの循環

この活動を、“持続可能なムーブメント#とするにはどうしたらいいのか？

まだ経済システムが機能している社会のなかでは、お金も、ムーブメントを支えるエネルギーである、とわたしたちは受け止めています。

動き出したムーブメントの中でのお金の流れを明らかにし、かかわるすべてのかたに行きわたり、継続可能な運営体制で進めていきたいと思えます。

<<3,500 円の内訳け>>

- ・1,000 円: 7 年かけて映像を撮り続け映画を完成させた SOTA 本部へ(映画製作費と今後の活動資金)
- ・1,000 円: アンバサドールの活動資金として
- ・500 円: 文化継承のための支援金として、長老たちの活動資金として
- ・500 円: SOTA-JAPAN 運営費用として
- ・500 円: 翻訳、DVD 製作費として

ご理解をお願いしますとともに、この取り組みの結果のムーブメントの成長を楽しみに、そして暖かく見守り、ご支援いただければ、幸いです！

◆CAST プロフィール

○(マヤ名:ワカテル・ウティウ=さすらう狼) アレハンドロ・シリロ・ペレス・オシュラ

“Wakatel Utiw” Alejandro Cirilo Perez Oxlaj

グアテマラ共和国生まれ。マヤ・キチュー族の大長老であり、北米・中米・南米に在住するすべての先住民族で構成される「アメリカ大陸先住民族長老評議会」と「グアテマラ先住民族長老評議会」の代表。Day Keeper(デイ・キーパー=マヤ暦とその預言の保持者)として、マヤ伝統を紹介する活動を世界中で行なっている。

また、元グアテマラ政府先住民族特別大使でもある。

1980年、Aj Q'ij(ア・キー=マヤ伝統文化の長老)となり、幼少の頃に受け取った2000年来、家系に代々伝えられてきた「聖なる杖」(人々の心とエネルギーを一つにする力を持っていると言われている)を携えて、マヤの預言を全うする任務を開始した。

アレハンドロ氏が受けた啓示の一つとして、人類は2010年頃に二つの異なる道をとる可能性があり、一方は、世界戦争、廃虚、崩壊をもたらし、もう一方の道は、人類の平和、先祖の治癒、地球の浄化をより多く達成するという。そのために、氏は、何千年も行なわれてきた伝統的なマヤの「火の儀式」を通じて、人類の心に宿る目覚めの炎を活性化するために、世界中を旅している。

○エリザベス・アラウホ Elizabeth Araujo / 共同プロデューサー

エル・サルバドル出身。思いやり溢れる人柄と優れた判断力を持ち、文化の境界線を越えて活動を続けている。アメリカ大陸先住民長老評議会のメンバー及び、さすらう狼の通訳として世界中を旅し、マヤのメッセージを広げる手助けを行ってきた。また、グランマとして母なる地球との統合や調和をもたらすために世界中で開催されている様々なセレモニーへ招聘されている。

○フィル・レーン Jr. Chief Phil Lane Jr.

スー・ダコタ族及び、チカソー族出身。教育行政学修士号を取得し、出版や映画、TV番組などの製作経歴を持つ。1992年、名誉あるウインドスター賞を先住民として初受賞。また、Four Worlds International Institute(FWII)会長として、持続可能なコミュニティの創造に力を注ぎながら世界中の先住民族と共に活動している。

○Rose Maria Cabrera/ マヤ族スピリチュアルガイド

○Roger Choque/ アイマラ族若き長老&メディスンマン

○Valentin Mejillones Acarapi/ アイマラ族スピリチュアルリーダー

○Fransisco/ マヤ族ア・キー&評議会メンバー

○Rosse Mary Vargas Vilela/ アンデス文化&スピリチュアルガイド

○Aymar Ccopacatty - Aymaran Young Leader/ アイマラ族若きリーダー

◆STAFF プロフィール

○スティーブ・コーブランド Steve Copeland / ディレクター・プロデューサー・脚本

本映画プロジェクト発起人であり、変革的エンターテインメントを提供するP-Qubd LLC 代表である。これまで、小規模なチャリティーイベントから大規模なスポーツや音楽のフェスティバルなど多くのイベントを手掛けてきた。また、「Roman」や「Kush」などの映画製作にも携わる。

2005年、マヤ族長老との運命的な出会いにより、あることを託された。それは、マヤの預言に対する誤解を払拭し、マヤ族の神聖なる実話を映像に収めることであった。11年間に及ぶ旅を終え、監督デビュー作となる映画「Shift of the Ages」を三部作ドキュメンタリー映画の第一弾として公開する。

○Joseph Giove / エグゼクティブ・プロデューサー・脚本

○Myles Connolly / プロデューサー

○Cris Borgnine / 撮影ディレクター

○Herwig Maurer / 音楽

○クオリアンカ・キルヒャー Q'Orianka Kilcher / ナレーター

「ニュー・ワールド」(2005年英・米/テレンス・マリック監督)のヒロイン、ポカホンタス役で有名なアメリカの映画女優。2006年ナショナルボードオブレビュー最優秀賞、2006年最優秀ラテンアメリカ女優としてアルマ賞を受賞した。また、先住民人権活動やアマゾン開発反対運動、児童教育プロジェクトなどにも関わっている。

○鈴木美穂 Miho Suzuki / 字幕翻訳

古来より受け継いできた伝統や文化を次の世代へと繋ぐため、日本と海外の架け橋として、マヤ・ワイタハ・シューマツシュ・ヤキ・ナバホ・ダコタ族などの先住民長老来日やTV番組・書籍の取材コーディネーター及び、通訳として活動する。2008年、南米でのスティーブ氏との出会いをきっかけに本映画プロジェクトのサポートに携わる。映画の撮影にも一部同行する。

◆「イーグルとコンドルの予言」

『神秘の鳥ケツァールをもつ中心部の者たちは、北のイーグルを南のコンドルと結びつける。

我らは出会う。なぜなら、我らは手の平にある指のように、一つの存在であるからだ。』

皆様の上映会、その後の発信が、世界のシフトにとって素晴らしいものとなりますように。



◆ “PLAY IT FORWARD” 上映会の手引き

1. はじめて上映会を主催される方へ

「Shift of the Ages」は、2013/9/27の初の東京上映会以降、日本各地で有志の方々主催のオフィシャル上映会が行われ、その後、観客側だった方々、DVDをプレイットフォワードで大切な人から受け取った方々による上映会となって広がっています。

初回の東京上映会を含め、主催者のほとんどの方はイベントのプロではない、素人の方ばかりですが、「この映画がもつ大切なメッセージを、自分の大切な方々に、自分の思いとともに伝え広げていきたい」という思いから、仲間をあつめ、自発的に行動していらっしゃいます。

その思いに共鳴し、また、映画からそれぞれに何かを受け取って、今後も広がり続けていくものと感じています。

それぞれがマニュアル通りではない、自分発の個性溢れる上映会の場づくりをされていることも、市民ネットワーク、コミュニティレベルでのムーブメントの素晴らしいところです。

自分もその一部になってみたい！受け取ったものを伝える側になりたい！そんな気持ちそのものが、世界各地のネイティブ、先住民たちがはるか古代から携えてきた叡智であり、口伝、継承の核であるとおもいます。

以下、手法を語るのは大変おこがましいことですが、これまでに行われた各地の上映会的主催者さんの経験から、どんな準備をしたらよいか、初めて上映される方のためガイドラインとして、上映会企画から実現までの流れをまとめてみました。

2. イメージしてみる

これから自主上映会をつくらうと思っているあなたがまずすることは、まずイメージすることです。

- ・自分自身はなにに感銘を受けたのか
- ・なんのために上映会をやろうとしているのか
- ・規模は？雰囲気は？どんな上映会にしたいのか
- ・見る前、見終わった後の観客の表情を想像してみましょう

各々の自主性を育みながら、みんなで何を実現したいか話し合ったり、チケットの売れ行きなど情報を共有しあうということも、大切なことです。1ヶ所に仕事が集まって負担がかかりすぎているか、協力者がお互いに何でもいえる雰囲気になっているか、世話役だけでひとり決めしていないか、など、心に余裕を持ちながら誰もが気持ちよく参加できる雰囲気づくりこそ、満足感のある上映会に繋がるようです。

3. 主催形態を決める

上映会主催形態には、2種類をご用意しています。

	オフィシャル上映会	自主上映会
主催者条件	他の上映会に参加してDVDを入手された方、或いはアンバサドルよりDVDを購入した方とします。 ※ムーブメントの趣旨をご理解頂くために、上映会へ先ずは自らご参加いただき、場の空気を感じていただくことをおススメします。	
観客人数	50名以上	50名未満
上映会参加費	3500円以上を設定ください。 ※事前申込み3500円、当日券4000円が過去最も多いです。リピーター料金等は、別設定下さい。(10ページ参照)	無料ご招待、ドネーション形式、参加費設定等、お任せします。
DVD	SOTA-JAPANよりDVD1枚2000円×50名分(10万円)をご購入いただき、(初めてご参加のかたのみ)DVDは全員プレゼントとして頂きます。また、会場にてDVDの物販もお願いいたします。	会場にて、DVD販売のチラシをお配りいただくか、Web購入の方法などをお知らせ頂きます。
ご予算	DVD50枚=10万円+会場費+諸経費	開催内容次第です。
ご利益	入場者1名(最低)1500円×50名=75000円 -会場費-諸経費が、利益となります。皆様のコミュニティ活動にお役立て頂く目的での設定です。	
会場	上映会可能な映像、音響設備のある会場に限らせていただきます。	ご自宅、会議室等、場所は問いません。
告知活動	SOTA-JAPANのホームページ、facebook、メルマガ、チラシ(有料/無料テンプレートもあり)など全面サポートさせていただきます。	Facebookでのイベント案内等、サポートさせていただきます。
トークイベント等	字幕翻訳、及びマヤ最長老と親しい鈴木美穂がトークに伺う/スカイプ参加など可能です。(交通費+トーク時間によって費用は相談させていただきます)	主催者様次第です。
その他メリット	DVD販売元『アンバサドル』になれます ※アンバサドルについては、後述「アンバサドル」活動のお願いをご覧ください。(13ページ参照)	低予算で、ご自身のカラーで、アットホームなかたちで開催頂けます。
その他お願い	募金箱設置/メルマガ会員募集に、ご協力ください	

4. 上映会主催の企画概要を決めてください

主催、上映日程、会場、収容人数など。この時に、手伝ってくださる有志を募ると良いでしょう。

5. まずは意志をご一報ください

オフィシャル、自主上映会問わず、経験者のアドバイス、サポートがあるととてもスムーズです。

ご自身がSOTAを知るきっかけとなったアンバサドル(オフィシャル上映会を主催された方のこと)の方々もしくは、SOTA-JAPAN事務局に、主催、上映日程、会場、収容人数等をご一報ください。(相談しやすい方で結構です)。

※SOTA-JAPAN事務局はそれぞれも仕事をもつ有志数名しかおりませんので、各アンバサドルの方々に、初めて上映会をされる方々へのサポート、アドバイス等ご協力、対応の分散をお願いしています。

SOTA-JAPAN事務局への連絡は、以下を、メール本文にはりつけて、お送りください。

★以下は、HPやfacebookでの告知や、有料チラシに載せる情報として使われていきます。

メール送信先: sotaj@sotajapan.org

タイトル:SOTA上映会開催希望

上映会開催希望: オフィシャル上映会／自主上映会

主催者様名称(団体名等):

主催者様代表者氏名:

主催者様連絡先携帯番号:

主催者様連絡先メールアドレス:

お持ちならHP等:

※上記と異なる場合のみ

告知用連絡先メールアドレス:

告知用連絡先電話番号:

※予定案で結構です

開催日時:XXXX年XX月XX日() XX:XX開場 XX:XX上映開始

会場名:

会場住所:

会場URL等:

目標人数:

(あれば)同時開催イベント:

予定入場料: 前売り／当日など

その他ご相談事項:(チラシ制作、HP掲載依頼等、なんでもご相談ください)

6. 予算組み

・入場料金、目標人数

入場料金平均は、オフィシャルは3500円～、小規模はご自宅でお茶代程度から、同時にさまざまなテーマの講演会をジョイントしたりと、千差万別です。

・価格設定アドバイス

オフィシャル上映会の場合、基本的には前売り3500円、当日4000円をお願いしています。

しかし、SOTA事務局がそれを制限するものではありません。それぞれの主催者様が、このムーブメントの広がりに適すると思われるアイデアを出して頂き、(ご自身の責任において)計画されることとが素晴らしいことだと考えています。これまでの主催者の方々では、以下のような価格を設定された実績があります。

◆家族割り:2名以上のご家族でお申し込みで、DVDを一枚のみご希望場合、2人目より入場料を1,500円に。

◆リピーター:シリアルNo.カードを見せれば、入場料が1,500円に。

◆リピーター:新たなお友達をお連れ頂き、シリアルNo.カードを見せれば、ご本人の入場料が無料に。

・会場費、設備使用料

オフィシャルの場合は、映画上映可能な仕様の音響、映像(字幕がクリアな画面サイズ、画質など)設備のある場所をお探しいただき、ご予約、会場費をご確認ください。

・DVD費用

オフィシャル上映会の場合、DVDは50枚以上、1枚当たり2,000円にてお分けします。(最低10万円)

オフィシャルの場合はDVD費用込みのチケット代となります、入場者全員(初めてご参加のかたのみ)にもれなく“PLAY IT FORWARD”DVDをお渡し下さい。

※【入場料3,500円—DVD費用2,000円=1,500円×人数】は、経費及び、売上として開催地のコミュニティ活動へご活用下さい。

・宣伝費(チラシ等)

HP (<http://sotajapan.org/movie/event.html>) にもあるオフィシャル上映会のデザインそのままの日程、場所、等の文字の入れ替えのみでよろしければ、SOTAJAPAN事務局でも以下の金額で承れます。

200枚=5000円 500枚=10000円

ご依頼～印刷～ご送付、までには約10日かかります。イベント1.5ヶ月前にはご依頼ください。

※イラストレーターが使える場合は、(<http://sotajapan.org/movie/download.html>)こちらのページの「PLAY IT FORWARD 上映会用(フリー)」にテンプレートを用意してありますので、お使い下さい。

・主催者事務諸経費

7. チケットの販売方法、受付体制を決める

人数把握しやすい【事前申込制】とするのがおすすめです。事前に各主催者指定の口座へお振込み頂いて下さい。これまでの実績としては、チケットレスで、無料イベント告知サイト「こくちーず」などもよく利用されます。
(<http://kokucheese.com/>) まったく未経験というかたはSOTAJAPAN事務局までご相談下さい。

8. 告知活動

・インターネット、各種メディア

開催地の地元メディア(新聞、雑誌、コミュニティFM など)、やTwitter・Facebook・HP・ブログなども利用して、上映会告知を広めて下さい。

その際、口コミの情熱の伝達力が衰えないよう、「なにに感銘を受けたのか」「自分はなんのために行うのか」という2つのポイントを熱く伝えられることをお勧めします。

※SOTA JAPANでも、HP <http://sotajapan.org/movie/event.html>、

Facebook“SOTANET” <https://facebook.com/Sotanet>

メルマガ及び、SOTA(英語サイト)より告知をサポートさせていただきます。

・チラシ等

主催者様側で作成される場合、印刷入稿前に一度確認をさせていただきます。(HPの無料テンプレート含む)

※意図に沿ったものであるかの確認です、ご理解願います。また、SOTA JAPAN事務局側も、広がり的气氛を可能な限り把握し、今後の新たな主催者様の後押しのために役立てたいと思っています。

9. 事前の準備

・会場との打合せ ※進行や、使用する付帯設備(マイク、テーブル、イスなど)の確認など

必要な機材: DVD デッキ、プロジェクター、スクリーン、音響設備。

★ご注意★ プロジェクターのスピーカーのみでは音が不十分です。ぜひ音響にはこだわってください。

★ご注意★ スクリーンが小さいと字幕が見えません。画質、サイズ、事前に見て確かめてください。

ディレクターのステーブ氏は、癒しをもたらす音を届けたいという思いで、音楽・効果音を制作しております。

是非、音響の良い場所を探して頂けますと幸いです。お客様の反応は格段に違います。

※DVD等の再生はプレーヤーで行って下さい。(パソコンでの再生は映像が飛ぶなどの問題が多いため不可)

・当日のタイムテーブル作成

映画は約90分です。オープニングやクロージングの時間を入れて、設定下さい。オープニングではご自身が感じた思い(なぜ主催しようと思ったか、映画との出会いや観たご自身の感想など)を会場でシェア下さい。

また、上映会終了後のクロージングでは、参加者の皆さんと感じたことなどをシェアする時間を共有して下さい。

・当日スタッフ役割分担 <当日券(つり銭も必要)、受付、場内整理、物販、司会、挨拶、影アナ、記録、会計等>

・上映会で配付するアンケート用紙(回収箱があると便利です)

・SOTA JAPANよりお願いしている募金箱の用意

・自主上映会の場合は、DVD入手先のお知らせのチラシもしくは周知内容

・自主上映会の場合はHPより、MOVIE GUIDEを入手、当日配布もしくはSNSなどで周知して読んでもらいましょう。

http://sotajapan.org/movie/_src/sc652/sota-j_movieguideflyer.pdf

10. SOTA JAPAN からのお届け(上映会日の1週間前程度を予定)

- ・ディスクは届いていますか？(上映2日前までに、内容の点検も必ずして下さい)
 - ・オフィシャル上映会の場合、参加者用と会場販売用のDVD、および「シリアルNo.カード」
 - ・スティーブ監督のインタビュー記事が掲載されたブッククラブ KAI の小冊子
 - ・制作経緯とスティーブ監督のメッセージをまとめた「MOVIE GUIDE」
 - ・DVD販売チラシ(「次の方へ」つなげるために、ぜひお配りください)
 - ・グアテマラ音楽のCD(開場・退場時にご利用下さい／差し上げます)
- ※DVDは50枚以上であれば、送料はかかりますが、上映会後の返品が可能です。
- 当日、足りない！と焦ることの無いよう、見込みより多めの発注をお願いします。

11. 上映会当日

- ・会場で事前に映写チェックをお願いいたします。
- ・音のボリューム、バランス、画面が切れていないかなど、映写担当者はもちろんのこと、主催者も納得のゆくまでクオリティの確認をお願いいたします。
- ・会場内のこと(トイレの場所、母子席、車椅子席の有無、映写室、内線電話番号など)は、スタッフ全員が把握していると、咄嗟のときに機転が利きます。
- ・会場での“PLAY IT FORWARD”DVD販売の活動をお願いします。
- ・SOTAムーブメントの次なる活動へ向けて、募金箱の設置をお願いします。
- ・SOTA JAPANからのメルマガ会員募集中の周知にご協力いただければと思います。

12. 当日上映会終了後

- ・見て終わり、とせず、シェアリングをされることをお勧めします。
ご覧になられた方それぞれが、会場を出た瞬間から、世の中のシフトへ行動し始める追い風となるようなしめくりができれば、主催者ご自身の感動もより大きなものとなるに違いありません。
- ・Facebook“SOTANET”へ、感想をコメントできますのでご案内下さい。
※Facebook“SOTANET” >>> <http://sotajapan.org/movie/event.html>
- ・PLAY IT FORWARD(DVDの販売)キャンペーン活動を行って下さい。
- ・アンケートをされた場合、用紙の回収

13. 上映会終了後、後日

- ・集まった募金からマヤ族、もしくはSOTA活動への募金を頂ける方は、ご連絡ください。
- ・DVD50枚以上に在庫が出た場合、そのまま今後手売り下さるか、SOTA-JAPANに返品下さることも可能です。
(送料はご負担ください)
- ・DVD販売枚数分(SOTA JAPANよりご請求書をお送りします)の振り込みをお願いいたします。
- ・SOTA JAPANメルマガ会員登録希望者リストをお送りください。(お名前、メールアドレスの一覧)
- ・ほか、主催者様のご感想など聞かせていただけると、励みになります。

※DVDの売り上げから長老たちへの活動への寄付金額、及びみなさまから任意でお預かりした寄付金は、切りの良いタイミングでホームページやfacebookページにてご報告させていただきます。

◆「アンバサドル」活動のお願い

オフィシャル上映会主催者のかたで、種蒔きの発信源となって頂ける方を、米国 SOTA 同様、「アンバサドル」と呼ばさせていただきます。巻末の「アンバサドルご契約書」をご確認ください。

アンバサドルの方々には、

1. DVD 販売元になっていただく(なられるかは主催者様次第)
2. 今後上映会を企画されるかたのアドバイザーになっていただく
などをお願いさせていただきます。

広範囲のムーブメントとするためには、それぞれ仕事をもちながら対応しております SOTA-JAPAN 事務局メンバーのみではいずれ対応しきれなくなると考えています。よって、ネットワーク的広がり仕組みをもたせたい、と考えています。また、こうすることで、お客様—アンバサドルの方々—SOTAJAPAN 全ての関係者にメリットが生まれると考えています。

稼働分散ができる / 地域分散につながる / 利益の循環につながる

1. DVD 販売元になっていただく

以下の共通ルールにて、DVD 販売を助けていただけないでしょうか。

- ・2500 円／税込・送料別にて、10 枚から承る。
- ・3500 円／税込にて、販売して頂く。(定価販売のみ)

2. 今後上映会を企画されるかたのアドバイザーになっていただく

以下のような場合、アドバイザーになっていただけないか、相談させてください。

(もちろん、SOTA JAPAN 事務局も頑張ります) ご縁、地域のつながり、をより深めていただければと思います。

- ・ご自身の上映会参加者から、さらなる主催者希望者が出てきたとき
- ・ご自身のお住まいの地域から主催者希望者が出てきたとき

制作協力・共催：SOTA JAPAN

公式HP：<http://sotajapan.org/movie/>

DVD販売ページ：<http://sotajapan.org/movie/dvd.html>

Facebook“SOTANET”：<http://www.facebook.com/Sotanet>

E-mail：sotaj@sotajapan.org

※まずはメールでお願いします。

◆進行表

時間	シーン	アクション(ホワイエ)	ステージ	備考 台詞 No 等
00:00	前打合せ			
00:00	搬入・準備			
00:00	開場 客入れ			
00:00	オープニング			
00:00	休憩			
00:00	上映開始			
00:00	クロージング			
00:00	退場			
00:00	撤収			
00:00	撤収完了	開場リミット		
	アフター	親睦会等		

◆台詞、台本

No.	シーン	台詞内容	備考
1	開場 客入れ		
2			
3			
4			
5			
6	オープニング		
7			
8			
9			
10			
11	休憩		
12			
13			
14			
15			
16	上映開始		
17			
18			
19			
20			
21	クロージング		
22			
23			
24			
25			

第7条（契約違反による解除）

乙が本契約の条項の一に違反したときは、甲は乙に対して何ら事前の催告なく、本契約を直ちに解除できるものとする。

第8条（乙の事由による解除）

乙において次の各号の一に係る事由が生じたときは、甲は乙に対して何ら事前の通知なく、本契約を直ちに解除できるものとする。

- （1）乙が甲に対して代金の支払を滞納し、または甲の業務上の指示に従わなかったとき
- （2）その他本契約に基づく甲と乙との信頼関係が損われたとき

第9条（不可抗力）

天災地変等の事由により、甲から乙への商品引渡しに支障が生じた場合には、甲は乙に対して何ら損害賠償の責に任ずることはない。

第10条（規定外条項）

本契約に定めのない事項が生じたとき、又は、本契約各条項の解釈につき疑義が生じたときは、甲乙各誠意をもって協議し、これを解決する。

以上、本契約の成立を証するため、甲乙各1通を保有する。

平成 年 月 日

甲：住所
団体名
代表 印

乙：住所
会社／団体名
代表取締役／代表 印